

令和 4年 3月22日  
四国地方整備局  
香川河川国道事務所

国道11号 大内白鳥バイパス（東かがわ市松崎～土居間）

開通後の整備効果と交通状況について

令和3年12月18日（土）に部分開通した国道11号大内白鳥バイパス（東かがわ市松崎～土居間、延長1.4km）開通後の交通状況と整備効果についてお知らせします。

【整備効果】

効果1：通学路の安全・安心の更なる向上

効果2：交通渋滞が緩和し、所要時間が短縮

効果3：通過交通がバイパスに転換し、ドライバーの負担が軽減

<参考>

【開通後1ヶ月後の交通状況】

○今回の開通区間に現道等から約7,400台転換。

○現道とバイパスの合計の交通量は最大約1,000台増加。

（現道交通量は最大3割減少）

引き続き、調査を行い効果検証していきます。

・本施策は、四国圏広域地方計画【No.5地域の自立的・持続的発展に向けた「資国」産業競争力強化プロジェクト】の取組に該当します。

【発表先】高松サポート記者クラブ

問い合わせ先（○は主な問い合わせ先）

国土交通省 四国地方整備局 香川河川国道事務所 電話 087-821-1561（代表）

道路副所長：曾我部 豊（内線）205

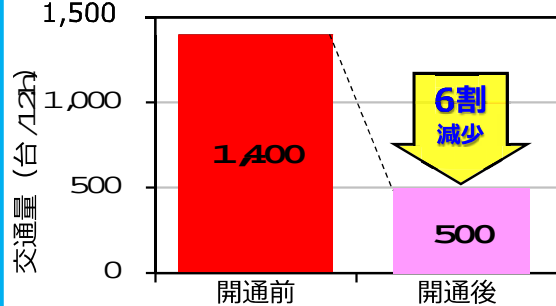
○道路調査課長：鹿児島 康一（内線）451

# 【整備効果①】通学路の安全・安心の更なる向上

- 今回の開通により、バイパスの並行市道（通学路）の交通量は6割減少し、併せて急ブレーキ箇所も減少。
- バイパスの広幅員の歩道が通学路として利用され、並行市道とともに通学路の安全性が向上。

## 通学路の交通量

抜け道利用する交通量が減少



資料：国土交通省調べ 開通前：2020.4.26(火) 7時～19時  
開通後：2022.1.19(水) 7時～19時

## 安全なバイパスを通過して通学



学校関係者の声  
通学路を抜け道利用する車が多く、危険な状態でしたが、交通量が大きく減少し、安全性が向上しました。また、今回の開通により歩道が広いバイパスを利用した通学が可能になりました。子供たちが安全に通学できる環境になり、見通しもよいので防犯面でも役立っています。

## ● 開通前



狭い通学路を抜け道利用する車で危険な状態

## <急ブレーキの発生状況 (開通前)>



## ● 開通後

## 車が減って通学路が安全に



この地図は、国土数値情報を基に加工したものである。

● 事業中区間	■ 高規格道路
■ 開通済み区間	■ 直轄国道
■ 今回開通区間	■ 補助国道
	■ 主要地方道
	■ 一般県道
	■ その他の道路

## <急ブレーキの発生状況 (開通後)>



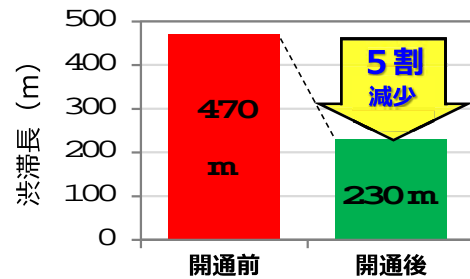
## バイパス開通

# 【整備効果②】 交通渋滞が緩和し、所要時間が短縮

- 丹生交差点では、今回の開通により**渋滞長が5割減少**し、**交差点の通過時間が半分（最大：約6分⇒約3分）**に短縮。
- 開通済区間に並行する**現道の渋滞が緩和**し、**旅行速度が最大で8km/h向上**。

## 丹生交差点（東向き）の渋滞長の変化

### 主要渋滞箇所の渋滞が緩和

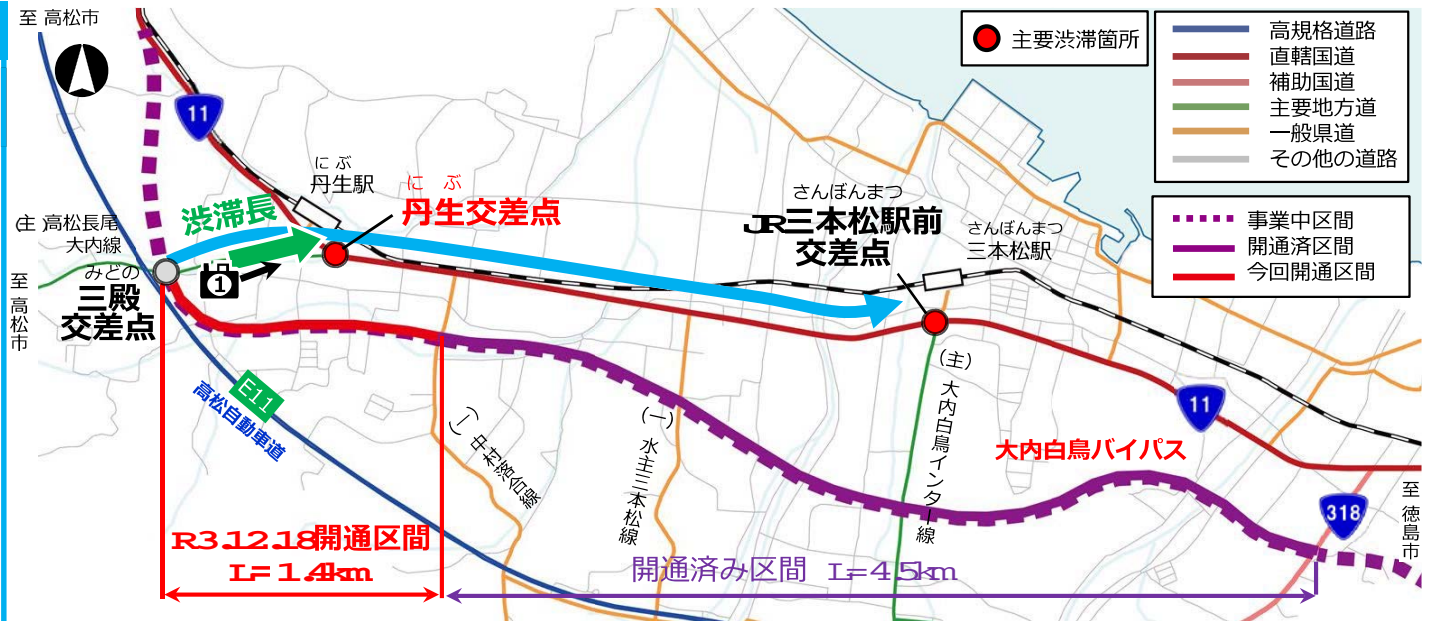


資料：国土交通省調べ（下記の渋滞状況調査の最大値）  
 開通前：2020.12.10(木) 7時～9時、17時～19時  
 開通後：2022.1.19(水) 7時～9時、17時～19時

### 〈主〉高松長尾大内線（丹生交差点）の交通状況



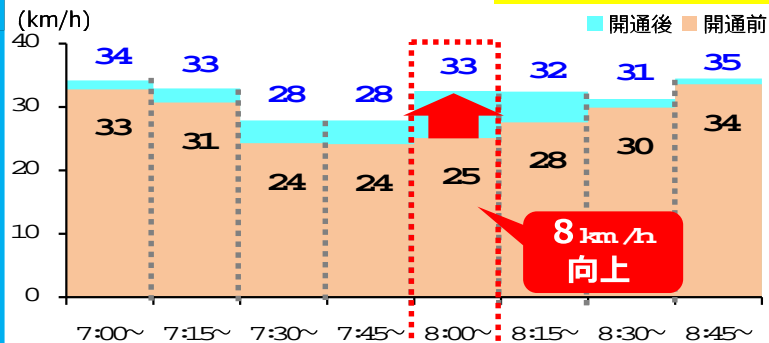
最大通過  
時間が  
約6分  
↓  
約3分  
に短縮



この地図は、国土数値情報を基に加工したものである。

### 三殿交差点からJR三本松駅前交差点への平均旅行速度

### 開通済区間の並行現道では最大で**8km/h向上**



資料：EIC2.0データ  
 開通前：2021.1.18(月)～1.22(金) 平均  
 開通後：2022.1.17(月)～1.21(金) 平均



### 〈地元自治体の声〉

現道の渋滞が緩和したので、現道周辺のまちなかに住む人の通勤にかかるストレスが軽減されました。  
 高松方面からバイパスを利用して通勤する人の利便性も高まったので、今回の開通により、雇用の拡大や交流人口の増加などの波及効果への期待感が大きく膨らみました。

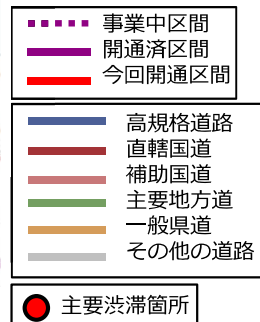
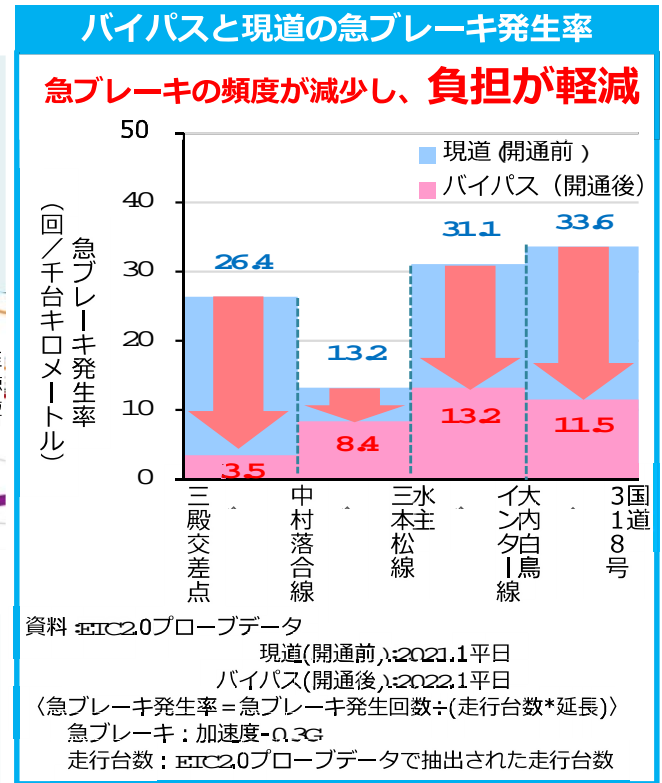
# 【整備効果③】 通過交通がバイパスに転換し、ドライバーの負担が軽減

- 主 高松長尾大内線と接続しネットワーク化したことで、市街地を通過する大型車交通が大幅に転換し、8割がバイパスを利用。
- 運転に気を遣う市街地を回避することで、急ブレーキの頻度が減少しドライバーの負担が軽減。

## 東かがわ市街地を通過する大型車がバイパスに転換



〈大型車の通過交通の割合〉  
 資料：ETC2.0プローブデータ  
 開通前：2019.12.21～25各日の平均  
 開通後：2022.1.17～21各日の平均



地元企業の声

一般道を長距離走るドライバーにとって、渋滞して、沿道からの出入りも多い東かがわの現道は非常に気を遣っていました。今回の開通で市街地を回避することができ、ドライバーの負担が大きく軽減されました。

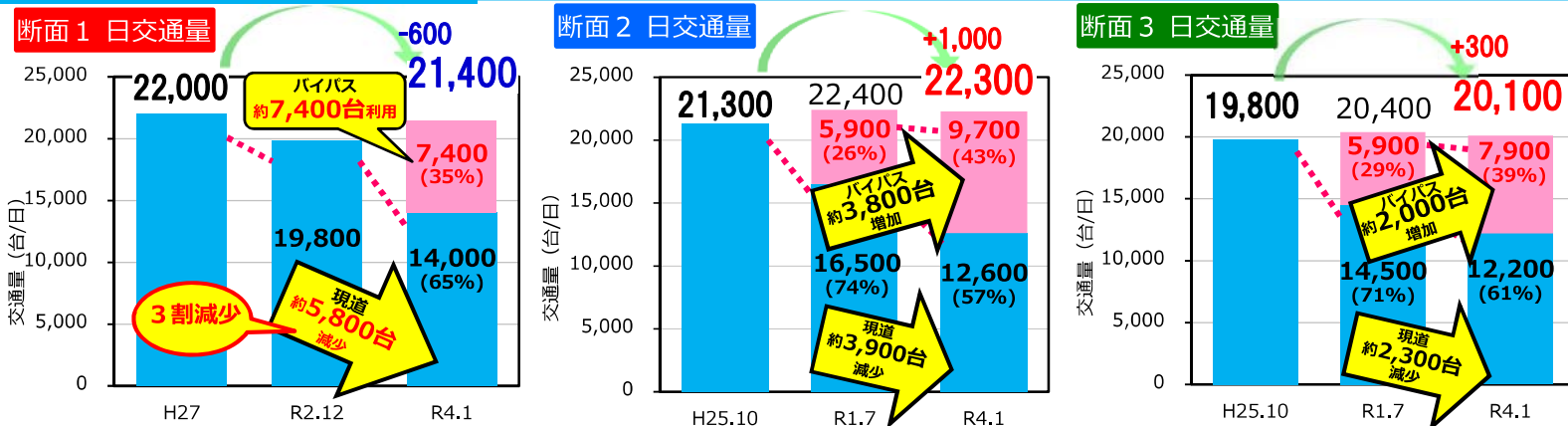
この地図は、国土数値情報を基に加工したものである。

# 【参考】国道11号 大内白鳥バイパスの部分開通から1か月後の交通状況

- 今回の開通区間により現道等から**約7,400台**転換。
- 現道とバイパスの合計の交通量は最大**約1,000台**増加（現道交通量は**最大3割減少**）。
- また開通済み区間においても、**バイパスへの転換が促進**。



## 現道とバイパスの交通量の推移



資料) 国土交通省調べ  
 H25.10 : H25.10.22 (火) 12h調査  
 H27 : 全国道路・街路交通情勢調査  
 R1.7 : R1.7.23 (火) 12h調査  
 R2.12 : R2.12.10 (木) 12h調査  
 R4.1 : R4.1.19 (水) 12h調査: 断面1  
 24h調査: 断面2,3

本資料の日交通量は、12h(7~19時)調査の場合、以下の昼夜率を乗じて算出

- ・断面1 現道:1.22(R2.12,R4.1) バイパス:1.23(R4.1)
- ・断面2 現道:1.28(H25.10),1.20(R1.7) バイパス:1.23(R1.7)
- ・断面3 現道:1.28(H25.10),1.21(R1.7) バイパス:1.21(R1.7)